

新潟市の主な特色ある事業一覧

	分類	事業名 [担当部署]	令和6年度 予算額 (千円)	概要・特色
1	総務	地域防災力育成事業 [危機管理防災局 防災課]	2,150	大災害発生時における避難所運営の円滑化を図るため、地域住民・避難所となる施設の管理者・行政の3者が集まり、避難所運営について事前に検討することで、避難所の運営体制づくりを行う事業。 全体講習会(避難所運営に関する研修会)と現地検討会(避難所となる施設での検討)という組み合わせで開催し、より具体的かつ実効性のある運営方法等を避難所ごとで検討していく。
2	総務	にいがたマンガ大賞 [文化スポーツ部 文化政策課]	3,366	「マンガ・アニメのまち にいがた」を全国にアピールし、マンガ文化の振興を図るため、プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集するマンガコンテストを実施する。
3	総務	学校連携プログラム「ARTRIP」 (アートリップ) [文化スポーツ部 美術館]	550	学校教育との連携を通じて、未来を担う子どもたちが美術に触れる機会を積極的に設け、想像力と感受性を養ってもらうため、市内の小・中学校・高校・特別支援学校を対象に、美術館の学芸員が出向いての事前授業と、美術館に来館してもらい行う鑑賞授業をセットにしたプログラムを実施する。
4	総務	LoungeN(ラウンジ エヌ) きままプログラム [文化スポーツ部 美術館]	-	新潟市美術館の開館30周年を機に行ったリニューアル(平成27年7月)により、コミュニケーションスペースとして新たに設置された「LoungeN」にて、いつでも、だれでも、申し込みも費用も要らずに気軽に参加できる造形プログラム。 ボランティアの協力を得て、年間4～5プログラム実施する。
5	総務	日本遺産「北前船」を活かしたみなと まち文化発信事業 [文化スポーツ部 歴史文化課]	1,200	新潟市歴史博物館みなとぴあの北前船関連企画展にあわせ、開館20周年を機に、国から認定された日本遺産「北前船」の資源を有効に活用し、「北前船」とともに発展したみなとまちとしての新潟の特徴や「みなとまち文化」を市内外に発信する。 市内に残る「北前船」関連文化財や川湊が存在した各区の旧在郷町をめぐる体験型イベントを開催し、文化観光の推進を図る。 ※企画展自体は7/27～9/1開催、関連イベント等の時期は検討中
6	総務	新潟ならではの鉄道コンテンツによる 誘客促進事業 [文化スポーツ部 歴史文化課]	15,700	新津鉄道資料館のリニューアル10周年を迎えるにあたり、新潟地区の路線の運転体験ができるシミュレータの導入や、新潟でしか見られない実物車両内部の特別公開日を拡大することで、来館者数の増加を図る。 ※新シミュレータの稼働開始時期は未定
7	総務	アキハスムプロジェクトVol.3 [秋葉区 地域総務課]	6,180	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特長・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成を図るとともに、移住・定住のための仕組みづくりに取り組む。
8	民生	地域包括ケア推進モデルハウス事業 [福祉部 地域包括ケア推進課]	6,283	地域で高齢者を支える仕組みづくりを進めるため、市内各区に地域包括ケア推進モデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や生活支援・介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの地域への普及を図る。
9	民生	民間未満児保育事業 [こども未来部 幼保運営課]	1,062,000	3歳未満児の生命の安全及びその心身の順調な発達が保障されるよう、設備、職員配置等適切な条件の下で保育を実施し、対象児童の福祉の向上を図るため、1歳児の保育に係る職員配置を国基準(6:1)より手厚いもの(おおむね3:1)とし、実施に要する人件費を助成する。

	分類	事業名 [担当部署]	令和6年度 予算額 (千円)	概要・特色
10	民生	病児・病後児保育事業 [こども未来部 幼保支援課]	257,198	病気や回復期にある児童を対象に、保育所等での集団保育が困難で保護者が就労等により家庭で保育できないときに看護・保育を行う病児・病後児保育を、市内全ての区、計11か所で実施。 地域の感染症流行状況や予防策等のおたよりを発行し保育所等に配布するとともに、保育所等で体調不良となった児童の送迎サービスを行うなど、安心して子育てができるよう支援を行っている。
10	民生	出会い・結婚サポート事業 [こども未来部 こども政策課]	1,800	少子化の進展は晩婚化や生涯未婚率の上昇が要因の1つと考えられることから、結婚の前段となる出会いを支援をするため、地域の企業や団体とゆるやかに連携した「新潟市婚活支援ネットワーク」を構築し、出会いイベントや独身者向けセミナー開催へのサポートや定期的な情報共有を行っている。 また、協賛店で提示することで様々なサービスを受けることができる、「新潟市結婚応援結(ゆい)パスポート」を結婚予定のカップルや新婚カップルに発行し、地域を挙げて結婚する2人を応援する機運の醸成を図っている。
11	民生	新潟市子ども条例推進事業 [こども未来部 こども政策課]	28,500	子どもが有する大切な権利とこれを守るおとなの責務を定めた新潟市子ども条例(令和4年4月施行)に基づき、権利の主体である子ども及び、幅広い市民に周知・啓発するとともに、子どもの権利侵害に係る相談を受け、権利の回復を支援する体制の整備を進めるほか、子どもの意見表明及び社会参加を促進する取組を推進している。
12	衛生	健康寿命の延伸に向けた取り組み [保健衛生部 保健所健康増進課]	15,247	働き盛り世代の健康づくりを推進するため、企業・団体等と連携し、市民の健康意識の醸成に向けた啓発を行うとともに、セミナー開催など企業等の「健康経営」の取り組みを支援する。 また、生活習慣病予防など、市民の健康課題解決に向けた取り組みを実施する。 ※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標
13	農水	民間施設木造・木質化支援事業 [農林水産部 農林政策課]	26,000	民間が整備する市内の公共的施設及び商業施設等での木材利用を促進するため、県事業「ふるさと新潟木づかい事業」を活用し、取り組みの相乗効果を図る。
14	農水	新潟発わくわく教育ファームの推進 (アグリ・スタディ・プログラムの推進) [農林水産部 食と花の推進課]	16,620	学校等で行う農業体験学習を支援することで、本市が誇る農業や食に対する子どもたちの理解を深め、ふるさとへの愛情や誇り、生きる力を培うとともに、農業を活性化することを目的に実施。 本市の農林水産部と教育委員会が連携して作成した独自の農業体験学習プログラム「アグリ・スタディ・プログラム」は、文部科学省の学習指導要領に準拠しており、同プログラムや全国初の公立教育ファーム「アグリパーク」などを活用して、市内全ての小学校が農業体験学習を実施する。
15	農水	6次産業化サポート事業 [農林水産部 農業活性化研究センター]	4,405	農業者や食品関連事業者を対象に、農産物の付加価値向上に向けた相談業務やセミナーを実施するほか、新たな事業展開に必要な加工機械・施設の導入を支援することで、6次産業化や農商工連携の取り組みを進める。

	分類	事業名 [担当部署]	令和6年度 予算額 (千円)	概要・特色
16	農水	農業活性化研究センター試験研究事業 [農林水産部 農業活性化研究センター]	7,799	農産物の安定生産や品質向上を図るため、生産現場における品種選定など栽培技術上の課題について研究を行い、市産農産物のブランド確立及び企業ニーズに対応した品種育成及び栽培実証を通じた技術情報の提供を行う。
17	農水	環境負荷低減農業研究事業 [農林水産部 農業活性化研究センター]	2,410	持続可能な農業の実現を目的に、農業における生産性向上や脱炭素化・環境負荷低減に向け、農業者の適正施肥による化学肥料の低減とコスト低減のための土壌診断事業や、環境に配慮した革新的な技術や生産体系のための研究を、生産現場の実情に応じて産官学で連携して取り組む。
18	農水	アキハもち麦推進事業Vol.2 [秋葉区 産業振興課]	1,210	「秋葉の里 白雪もち麦」を地域ブランドとして定着化を図る次の段階に移行させるため、産・福・学・官の連携を深めるとともに、さらなる周知・普及促進並びに販売・消費拡大等に必要な支援を行う。
19	商工	アキハ「鉄道物語」 [秋葉区 産業振興課]	4,490	これまでに培った新津の鉄道に関する施設、歴史、人材などの地域資源を、商店街、地域住民、子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、「鉄道」を基軸に街づくりに取り組む地域との連携を図り、さらなるまちなか活性化と交流人口の増加を図る。 その交流の結節点でもある秋葉区の玄関口、JR新津駅を訪れた方々に秋葉区の情報を届けする観光案内所を運営しながら再訪の縁を探る。また、区内の情報発信・観光案内に携わる企業体の現出を図る。
20	商工	里山未来創造事業 [秋葉区 産業振興課]	3,000	秋葉区の魅力の1つである里山を生かしたまちづくりを目的に、区民と協働で策定した里山利活用の行動計画に基づき、里山の魅力発信やにぎわい創出、次世代につながる環境教育を行う。 里山の玄関口に位置する「秋葉公園」には、毎週土曜日に「自分の責任で自由に遊ぶ」Jakihaマウンテンプレーパークを実施し、たき火や木工、急傾斜を利用した手作り遊具で自由に遊べる。
21	商工	にしかん観光周遊バス運行事業 [西蒲区 産業観光課]	3,500	角田山麓や岩室エリア、弥彦エリアにある主要な観光資源を巡る観光周遊バスを運行している。新潟空港・新潟港からカーブドッチ・岩室温泉・弥彦温泉を直行する乗合タクシー運行事業と連携し、県外客やインバウンド対応に向けた、区内および隣接する観光エリアとの周遊性の向上を図る。 (令和6年度運行日：令和6年4月27日から10月27日までの土日祝日)
22	商工	わらアートまつり事業 [西蒲区 産業観光課]	6,359	市民と武蔵野美術大学などの学生との協働で、稲わらを使ったわらアート作品を制作・展示するイベント。地域の特色を生かした本市独自のアートイベントとして、また、わらアート発祥の地として、近年では海外メディアでも多く取り上げられており、西蒲区の魅力を国内外にPRし、交流人口の拡大を図る。
23	土木	ミズベリング信濃川やすらぎ堤でのにぎわい創出 [都市政策部 まちづくり推進課]	1,500	本市都心部の信濃川堤防護岸「やすらぎ堤」で、飲食店やマルシェなどを出店し、新潟市の特色を活かした賑わい創出を推進。 公民連携の取組として、空間の管理運営は県内有数のアウトドアブランドである(株)スノーピークが担い、「やすらぎ堤」を統一感のあるアウトドア空間に設えている。

	分類	事業名 [担当部署]	令和6年度 予算額 (千円)	概要・特色
24	土木	にいがた2kmシェアサイクル運営事業 [都市政策部 都市交通政策課]	6,376	まちなかの回遊性向上や公共交通の補完などを目的に、令和4年9月にサービスを開始した「にいがた2kmシェアサイクル」の運営を事業者と協働で取り組む。 電動アシスト付自転車170台、ポート38箇所(令和5年度末現在)
25	土木	高齢者おでかけ促進事業 [都市政策部 都市交通政策課]	272,934	本市在住の65歳以上の高齢者の外出促進及び公共交通の利用増加と健康寿命の延伸につけることを目的に、バス運賃を半額 [※] にする高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」を実施。 ※一人一月あたり半額の運賃で4,300円まで(一部路線を除く。)
26	土木	バス交通改善事業 [都市政策部 都市交通政策課]	14,895	バス交通を将来にわたって持続させるために平成27年にスタートした新バスシステムについて、新たに生じた乗り換えによる負担の軽減や利用環境の向上を図るべく、民間との連携による交通結節点の待合環境整備や、乗換案内の充実、交通バリアフリーの推進やモビリティ・マネジメントなどに取り組む。
27	土木	生活交通確保維持・強化事業 [都市政策部 都市交通政策課]	354,523	高齢者や障がい者などを含め誰もが移動しやすい交通環境を実現するため、路線バスへの補助や区役所などへの移動需要に対応した区バスの運行、公共交通不便地域において住民が主体となって運行する住民バスへの支援を行うほか、路線バスの廃止や収支が低迷している路線を抱える地区において、マイクロバスやジャンボタクシーなどの中型車両と小型タクシー車両を組み合わせた新たな移動手段「エリアバス×タク」を運行するなど、地域の実生活交通の確保・維持に取り組む。
28	土木	新潟駅周辺地区の整備 [都市政策部 新潟駅周辺整備事務所]	4,149,627	新潟の陸の玄関口にふさわしい機能的で魅力ある都市空間と、日本海国土軸の強化及び利便性の高い交通ターミナル機能の充実を図ることを目的に、鉄道高架化や立体交差道路及び駅前広場等の整備を進める。
29	土木	新たなバス運転士応援事業 [都市政策部 都市交通政策課]	14,000	市内路線バス等を運行する事業者を対象に、大型二種免許の取得支援、新たに採用する運転士の家賃助成、県外採用者に対する移住支援等を行い、運転士の人材確保を公民連携で取り組む。
30	土木	未来に向けたバス利用促進事業 [都市政策部 都市交通政策課]	85,000	市内在住の中学生、高校生世代に、3,000円分の「りゅーとポイント」等と交換(またはバス定期購入代金の一部として充当)できるチケットを配布し、将来的な公共交通利用者の確保を図る。
31	土木	バスでおでかけキャンペーン事業 [都市政策部 都市交通政策課]	45,000	市内の路線バス等の無料デーを実施し、バスの利用機会を創出することで、バス利用の新たな需要喚起を図る。

	分類	事業名 [担当部署]	令和6年度 予算額 (千円)	概要・特色
32	土木	路線バス運行円滑化促進事業 [都市政策部 都市交通政策課]	30,000	新潟駅バスターミナルの供用開始を契機として、限られたリソースを最大限活かし、南北市街地の一体化に資するバス交通を実現させるため、バス環境の改善に向けた南北路線の実態把握と調査検討を行い、路線バス運行の円滑化を図る。
33	土木	除雪車運行管理システム [土木部 土木総務課]	27,852	ICT技術を活用した除雪車運行管理システムを導入し、「リアルタイムな除雪車の稼働状況の把握」「正確かつ迅速な除雪費の把握」「除雪協力業者及び市職員の業務量の軽減」など除排雪作業の効率化を図る。(除雪車、凍結防止剤散布車1,216台にスマートフォンを搭載)
34	土木	新潟中央環状道路の整備 [土木部 道路計画課]	1,750,000	本市のまちづくりは、多核連携型の都市構造の構築を目指していることから、広域幹線道路である新潟中央環状道路の整備を推進し、道路ネットワークの充実を図る。